

サイエンスカーニバル

～地元の中高生・大活躍～

12月11日(日)。大賑わいのサイエンスカーニバルでした。参加、出演してくれたのは市内の中学校7校、高校4校の科学部など。出し物はサイエンスショーとワークショップです。サイエンスショーでは、シャボン玉・空気砲・静電気・



音・光・食品などの身近な素材から、気圧・炎色反応・水素爆発・液体窒素などの高度な素材までがオンパレードでした。

ワークショップでは、マグネットカー・スライム・笛・万華鏡から、モーター・人工いくら・チタンアクセサリーまで、とても多彩な内容でした。

参加の各学校では、4月から積み上げてきた部活動や秋の文化祭などでの発表。当館では、8月に「夏休み体験館部活動」、10月に「サイエンスショー学

習会」、そして12月上旬には「体験館リハーサル」と、1年間を通して育んできた科学の花が、大輪となって開いた一日でした。

観客数も延べ二千人以上を数え、幼児から高校生まで、そしてその保護者や家族の皆さんが、身近な市内の中高生のパフォーマンスに拍手を送ってくれました。

今年で3回目のサイエンスカーニバル。年々参加校も観客数も増えてきて、盛り上がりを見せています。来年度が早くも楽しみです。

クリスマスコンサート 夜空に奏でる月のメロディ

12月10日(土)にプラネタリウムにてクリスマスコンサートが行われました。タイトルは「夜空に奏でる月のメロディ」です。

コンサートをしてくださったのは、ジャズヴォーカリストの大友玲子さんと、マリンバ&ヴィブラフォン奏者の山下真理さんです。ジャズのスタンダードナンバーからクリスマスソング、または誰もが聞いたことのある歌謡曲のジャズバージョンなど幅広い曲で私たちを楽しませてくれました。美しい歌声とマリンバとヴィブラフォンの演奏が星空にマッチして、とても素敵なコンサートでした。

また、プラネタリウムならではの曲に合わせた美しい演出や楽しい映像、星空解説など、他のコンサートとは少し違った楽しみ方もできたようです。

お客様からは、「素晴らしかった。異次元の世界に引き込まれたようでした。」「とても感動しました。癒しの時間をありがとう。」などの声をいただきました。

最後に、クリスマスの曲を何曲か披露していただき、アンコールでは会場の皆さんときよしこのよるを一緒に唄って、クリスマスムード満点のコンサートとなりました。



☆天文トピックス☆ 冬の星空は宝石箱



寒い冬は、空気が澄んで星が良く見えます。温かい服装をして、ぜひ本物の星空を見てください。特に冬の星座は、明るい1等星が7つもあり、とてもにぎやかです。

南の空を見上げると、冬の星座の主演、オリオン座がよく目立ちます。神話に登場する狩人の姿を描いた形のいい星座です。規則正しく並んだ“三ツ星”、左上の赤い1等星ベテルギウス、右下の白い1等星リゲルが目印です。ベテルギウスとおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、この3つの1等星を結ぶと、大きな三角形ができます。これを、「冬の大きな三角」とよび、冬の星座を探す目印です。



オリオンが立ち向かうおうし座の目には、赤く光るアルデバラン、肩のあたりには“すばる”の名で知られる星の集団“プレアデス星団”が見つかります。6～7個の星がひとかたまりになって輝いています。

左の星図を参考に明るい星を1つ2つと結んでいくと大きなダイヤモンドのできあがり。オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン。大きな六角形ができたなら、これが「冬のダイヤモンド」です。

満天の星の中で眠ってみませんか？

～熟睡プラ寝たリウム 今年も開催！～

勤労感謝の日の11月23日(水・祝)に、プラネタリウムの満天の星の下でぐっすり眠って頂くというイベント、「熟睡プラ寝たリウム」を行いました。

今年は全国31館のプラネタリウムでの一斉開催となり、東海地方では、当館が唯一の開催館でした。

枕やアイマスク、ブランケットなどを持ち込まれる方も多数。投映の前に、軽くストレッチなどもして… みなさん、寝る気満々です。昨年同様「いびき席」はもちろんのこと、今年から用意した「ふとんエリア」も意外と人気で驚きました。

満天の星に包まれて、いつもよりゆったりとした解説と心地よい音楽が熟睡タイムへと誘います。「いつもプラネタリウムで寝てしまうので、堂々と寝ることができる今日の企画はとてうれしかった。」「星の事も聞くことができ、癒されて。うとうとすることができて、とてもよかったです。」「日頃のストレスからリラックスした気分になることができました」などの声が聞かれました。

